

平成 22 年度 教育課程編成にあたって

小 音楽

1 平成 22 年度に求められる取組

(1) 年間指導計画の作成

- ① 各領域（A 表現，B 鑑賞）の指導事項と〔共通事項〕との関連を図り，年間をとおして継続的に〔共通事項〕で示している内容を取り扱うように工夫し，適切に指導計画に位置付ける。
- ② 各学年の歌唱共通教材の曲数の変更や，新学習指導要領全面実施に向け，鑑賞教材選択の観点について，「和楽器の音楽を含めた我が国の音楽」を取り扱う学年を確認する。

(2) 題材や教材の開発

- ① 教科の目標を踏まえ，学年の目標と内容（2 学年ごと）に示している事項を十分に検討して題材を設定する。
- ② 音楽のよさや美しさを感じ取ることができる教材や，児童の実態に応じて表現の喜びを感じることできる教材を選択する。

(3) 配慮すべきこと

〔共通事項〕の指導に当たっては，表現及び鑑賞の各活動の中で指導し，〔共通事項〕のみを扱う学習にならないように配慮する。

2 教育課程編成上，参考となる取組例

(1) 2 学年ごとに内容の扱いをマトリックス表で示す指導計画の作成

低，中，高学年ごとにまとめた指導計画を作成し，題材の配列と教材，学習指導要領の領域別の内容，〔共通事項〕との関連を示すことにより，領域のバランスや指導の系統性について配慮したものができる。また，各題材における学習指導要領との関連について，重点的に取り扱う事項と関連的に取り扱う事項を「◎」や「○」などで示すことにより，指導内容を明確にすることができる。

(2) 思いや意図をもって表現する力の育成を重視した学習活動

歌唱教材を取り扱う際には，児童が楽曲を聴いて感じ取ったことや想像したことを言葉や体で表したり，友達と伝え合ったりしながら表現を豊かにしていく活動を取り入れ，表現を工夫する楽しさを味わうように授業展開を工夫する。

3 教育課程編成上の Q&A

Q1 歌唱共通教材や和楽器の指導について留意することはどんなことか。

A1 歌唱共通教材には，我が国のよき音楽文化を世代を超えて受け継ぎ，生活の場面で音楽を楽しんだり，共有したりできるようにするという観点があることを十分に踏まえ，歌詞の内容や曲想を生かした表現を重視する。また，和楽器を扱う場合は，学校や児童の実態に応じて楽器を選択し，豊かな表現を楽しむことをとおして和楽器のよさを味わわせる。

Q2 言語活動の活用について留意することはどんなことか。

A2 児童が感じ取ったことを言葉で表すことが大切である。また，意見交換をすることにより，ほかの感じ方を知ったり，自分の感じ方を深めたりすることができる。